

**Beyond Limits. Unlock Our Potential.
To the Next Stage.**

**第 2 期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画
(既存拠点都市用)**

コンソーシアム等の名称：福岡 RAMEN TECH コンソーシアム

I. 全体ビジョン

1. スタートアップ・エコシステム拠点形成の目指す姿・KPI

(1) エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

これまでに構築してきた世界的なネットワークを活かし、
アジアを中心とした海外のエコシステムと九州をはじめとする国内他拠点をつなぐ ゲートウェイとなる拠点へ

福岡のスタートアップエコシステムの歩み



Revolutionizing Asia: Merging Ecosystems & Networks – Tech

- 世界中のスタートアップ、エンジニア、投資家、エコシステムビルダーが集い、交流し、イノベーションを生み出す場
- アジアを中心に国内外のVCやアクセラレーターが集結
※海外のVC・アクセラレーター 17社参加 (うち、アジア 12社)

エコシステムの現在地

KPI	ユニコーン	評価額10億企業 (累計)	スタートアップビザ認定数 (累計)
	1社	120社	140件

※右記は令和6年度末

創業のすそ野拡大

多種多様なスタートアップが創出
FGNを中心としたスタートアップコミュニティの充実
民間主体のスタートアップ支援が活況
(地場VCと海外VC等のMOU)
(民間主体のオープンイノベーションプラットフォーム組成)

GBS相談対応 (累計33,180件)
スタートアップビザによる外国人起業家の創出 (累計132件)

九大OIP (株) 設立
研究シーズの事業化へ本格的な伴走支援により大学発スタートアップ創出の加速

海外のエコシステムとの連携構築

MOUにより世界的なネットワークを構築
(12か国・地域16拠点)

企業の集積

好調な企業誘致
(11年連続50社以上)

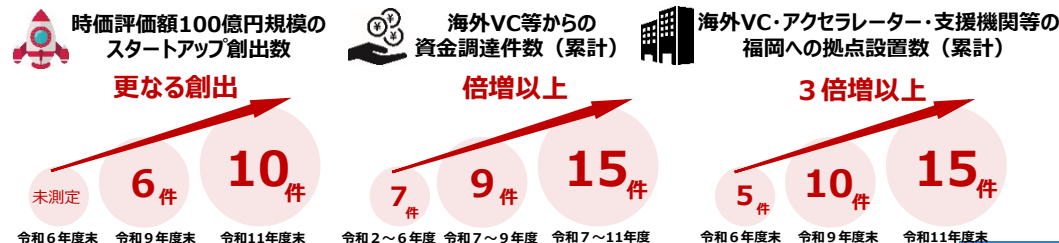
TEAM FUKUOKAによる国際金融機能誘致
(外資系33社 うちアジア12社)

5年後 (令和11年度) の目指す姿

これまでに構築してきた世界的なネットワークを活かし、
アジアを中心とした海外のエコシステムと九州をはじめとする国内他拠点をつなぐ ゲートウェイとなる拠点

- 「RAMEN TECH」をキーコンテンツとし、アジアの主要エコシステム (台湾、シンガポール、ベトナム、タイなど) と相互交流が定期的に行われる連携体制を構築
- 福岡のエコシステムを牽引する「高さ」と「ソーシャル」のロールモデルとなるスタートアップがエコシステムの象徴として存在

KPI



I. 全体ビジョン

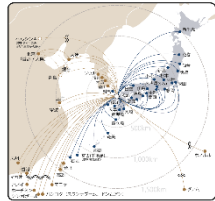
1. スタートアップ・エコシステム拠点形成の目指す姿・KPI

(2) 世界に発信できるセールスポイント（イチ押しポイント）

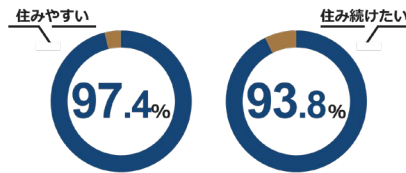
アジア No.1のスタートアップ・フレンドリーシティ

～国内外から多様な人材が集い、チャレンジする人が尊敬されるまち～

Fukuoka 4つの魅力



東アジアの中心に位置
～アジア主要地域に容易なアクセス～



日本で最も住みやすい都市
～住民の97%が住みやすいと回答～

都心部で進む再開発



圧倒的なビジネス環境
～通勤時間は平均約30分～
～空港から都心部まで約20分～



大学と研究開発拠点の集積
～学生の割合は政令市2位～

注力領域

「ソーシャル」

福岡独自のスタートアップ文化

～社会や地域の課題解決を目指すスタートアップを支援～

高島市長は金融庁・経済産業省所管インパクトコンソーシアムの共同発起人として日本をリード

国家戦略特区やスタートアップカフェ、
FGNにより創業のすそ野拡大



先端技術等を活用した実証実験に
より、社会課題の解決を支援

#教育・子育て #自然との共生 #食・農業 #健康・医療・福祉 #都市インフラ #防災
(ライフスタイル・環境) etc

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

(1) 実績と目標

Revolutionizing Asia : Merging Ecosystems & Networks - Tech

～アジアからイノベーションを：エコシステムとネットワークの融合～

過去5年間の実績

「福岡と海外双方のスタートアップの進出支援」を通じて、福岡のスタートアップ企業のグローバル化を推進。

※Startup Blink社より2023年「Fastest Growing Startup Ecosystem in Asia」として評価

◆グローバルイベント

開催件数：31件、来場者数：16,135人
ビジネスマッチング：757人

◆グローバル展示会出席

参加回数：14回
参加者数：171名

◆スタートアップビザ

57件 → **140** 件

◆海外とのMOU締結

15拠点 → **16** 拠点

今後5年間の目標

スタートアップだけではなく、事業会社や大学など全てのエコシステムプレイヤーが国境を越えて連携し、福岡にしながら世界を見据えた創業・成長を可能にする環境を整備していく。これにより、多様なネットワークが融合し、福岡からアジアのイノベーションが次々と生まれる未来を創出することを目指す。

KPI ※ () 内は令和9年度末

◆海外VC・アクセラレーター・支援機関等の福岡への拠点設置数（累計）【再掲】

15 件 (10件)
※令和6年度末 5件

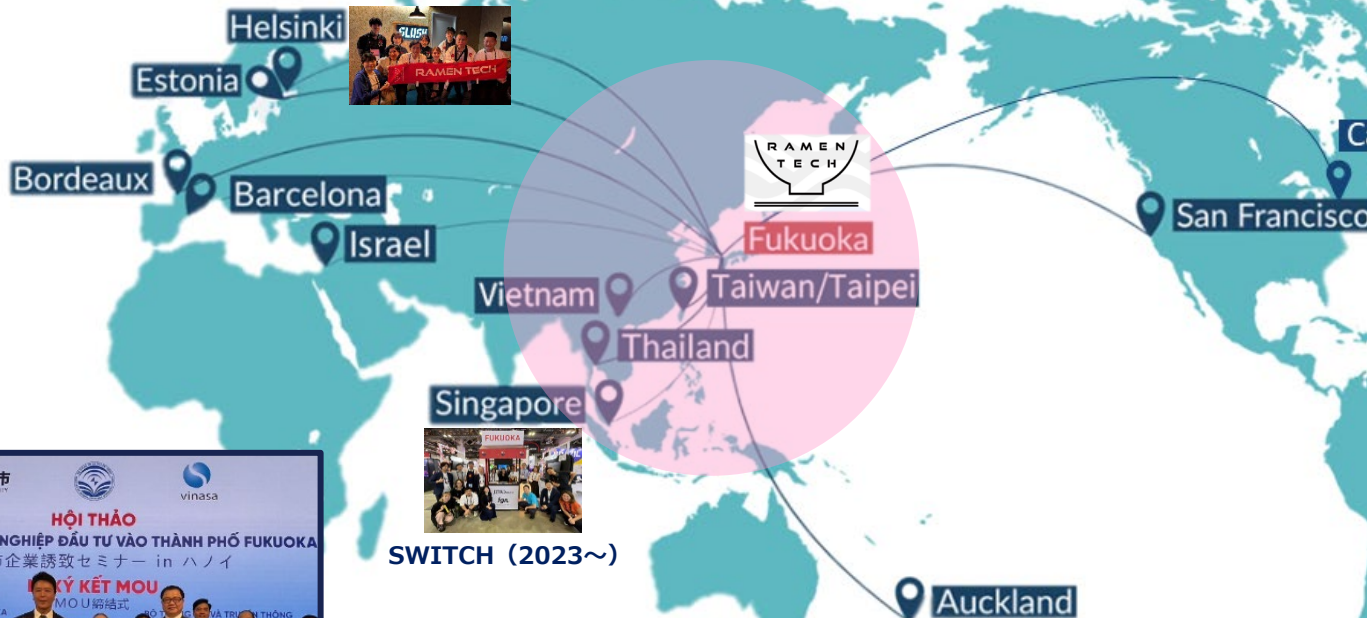
◆海外展開プログラムへの参加人数（累計）

250 人 (150人)
※令和6年度 34人

◆スタートアップビザ認定数（累計）

240 件 (200件)
※令和6年度末 140件

SLUSH (2016～)



SWITCH (2023～)



令和6年6月 ベトナム情報通信省とMoU締結

New!
17拠点目



令和7年4月 C I CとMoU締結
(ケンブリッジ・イノベーション・センター)

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

(2) 目標への道筋

アジアを中心とした海外のエコシステムと九州をはじめとする国内他拠点をつなぐゲートウェイとなる拠点へ

IN

OUT

RAMEN TECH

～海外（特にアジア）のエコシステムと連携強化～

【令和6年度実績】

ピッチ申込数 84 件（うち、アジア 75 社）
出展ブース数 61 件（うち、アジア 31 社）



mirai@

- 海外企業の実証実験に関する相談受付・サポート

～海外VC等とのマッチング～

- RAMENTECHを機に招へいた海外のVC・アクセラレーター・支援機関とスタートアップ・地元企業との双方のニーズをふまえた適切なマッチング支援

GLOBAL BUSINESS SUPPORT

～スタートアップの福岡・海外展開をサポート～

- (IN) 海外スタートアップの福岡進出の支援
- (OUT) 海外企業とのマッチング、MoU先のスタートアップ支援事業への参加支援



TEAM FUKUOKA

～海外の資産運用業の集積～

- 海外VCの誘致
- 海外アクセラレーターの誘致

MOU先のスタートアップ
イベント参加
/現地でのマッチング支援

- 現地のネットワークを活かした海外VCやビジネスパートナー候補との適切なマッチング

海外とのMOU締結

～グローバルに活躍できる創業の環境づくり～

- 海外起業家・スタートアップの受入促進
- 世界を目指す起業家のための新たな市場進出の機会創出



ベストプラクティス①「海外への拠点設置」

～「Fukuoka Global Medtech VC Day」(R4nd)

- 海外展開志向の高いSUに対して、希望する進出先及びVCについてヒアリング。ソーシングを経た海外VCに対して企画趣旨及びSU情報を事前に提供の上、少人数かつ確度高いマッチング・ネットワーキングイベントを開催
⇒ 招聘VCから米国のアクセラプログラムに招待され、採択。
「Japan Innovation Campus」に入居し、米国に本格進出
⇒ 令和7年5月に資金調達に成功し、事業を拡大



ベストプラクティス②「地場VCと海外VCとのMOU締結」



- 地場の独立系VCが海外VC等7社とのMOUを締結
- 双方の投資先に関する情報交換により、海外VCからの資金調達案件の創出に期待

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

(3) 今後の取組み

海外エコシステムとの連携強化

令和6年初開催！



RAMEN TECH【福岡市、FDC、JETRO、FGN】

Revolutionizing Asia: Merging Ecosystems & Networks
- Tech

福岡の起業家精神と交流志向を最大限に活かし、世界中のスタートアップ、エンジニア、投資家、エコシステムビルダーが集い、交流し、イノベーションを生み出すグローバルスタートアップフェスティバルの開催

K
P
I

参加者数

7,500名
以上

(令和9年度)
5,000名以上

【令和6年度 開催実績】

◆ピッチコンテスト「Asia Next Unicorn Award」

18か国・地域から**84**社から申込あり、**8**か国・地域 **16**社が登壇
台湾のCancerFree Biotechが優勝



◆「Asia Startup Ecosystem Summit」

20を超える国内外のVC、アクセラレーター、政府機関が集結し、スタートアップのグローバル成長戦略やエコシステム間の連携強化、**アジアにおける注目の投資領域**などについて語り合うカンファレンスを開催



<参加> 延べ3,000名 (うち**海外13%**)

※**海外**のVC・アクセラレーター **17**社参加 (うち **アジア 12** 社)



令和7年春開設！

CIC Fukuoka 開設



東京に次ぐ**アジア 2** 拠点目の開設

- スタートアップ向けのワークスペース、スタートアップの成長を強く後押しする支援プログラム、**世界に繋がるグローバルなコミュニティ**を提供
- スタートアップ企業や投資家、大学・研究機関、学生など多種多様な人が集うイノベーションコミュニティを**世界14都市に展開・運営**する「**Venture Café**」が誰でも気軽に参加できる**プログラムを毎週開催** (令和6年秋～実施中)

海外エコシステムとの連携・交流事業 【福岡市、FDC、JETRO、大学、FGN】

海外のエコシステム関係者の来福に合わせ、海外現地市場の動向や福岡のスタートアップ・エコシステムの取組みを紹介するネットワーキングイベントを実施。**民間のエコシステムビルダー同士がつながる**ことを目指す。



K
P
I

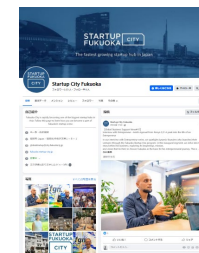
実施事業数

年間24件

(令和9年度)
年間20件

SNSを活用した海外に向けた情報発信 【福岡市】

福岡のスタートアップ・エコシステムの取組みや動向を知ってもらい、インバウンドにつなげる海外 & 国内向けのFacebookを運用



K
P
I

SNSフォロワー数

13,000人

(令和9年度末)
12,000人

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

(4) 今後の取組み

海外展開支援

海外スタートアップイベントへの参加【福岡市、FDC、JETRO】

スタートアップのニーズをふまえた海外イベントへの参加に合わせ、現地での効果的なマッチング支援を実施

【令和6年度実績】

◆Singapore Challenge プログラム

シンガポール最大級のスタートアップイベント『SWITCH』において、個別支援プログラム（渡航前研修・メンタリング・マッチング調整及び渡航後のフォローアップ）およびブース出展、サイドイベントを実施

【参加スタートアップ】



K P I	スタートアップ参加者数 (令和7～11年度)	(令和9年度末)
	累計300人	累計180人
	商談件数(令和7～11年度)	(令和9年度末)
	累計250件	累計150件



◆SLUSH2024

イベントの参加に合わせて、サイドイベント「RAMEN TECH in Helsinki」、ネットワーキングの開催や現地プレイヤーとのマッチングの機会を創出

【参加スタートアップ】



フェーズ（創業前から成長期）に応じた海外進出プログラム【福岡市】

個別のメンタリングを通じて、事業計画・マーケティング戦略の策定や現地でのネットワークづくり、ビジネスノウハウの習得等を行い、海外渡航時に効果的なビジネスマッチングを実施

新しい地方経済・生活環境交付金充当事業



R7nd 拡充

K P I	プログラム参加者数 (令和7～11年度)	(令和9年度末)
	累計250人	累計150人

福岡市スタートアップ海外展開支援補助金【福岡市】 R6nd 開始

世界で通用するサービス・プロダクト等を有し、海外展開を目指すスタートアップに対し、以下の経費を助成

- ・高度人材雇用
- ・海外拠点開設
- ・海外イベント出展にかかる経費

K P I	支援件数(令和7～11年度)	(令和9年度末)
	累計15社	累計9社

海外展開に関する専属相談員の設置【福岡市】 R7nd 新規

外国人起業家・金融機関向けのワンストップ支援センター「GLOBAL BUSINESS SUPPORT」に新たにMOU先への海外展開支援機能を拡充

K P I	海外展開に向けた相談対応件数 (令和7～11年度)	(令和9年度末)
	累計150件	累計90件

海外SUの呼び込み

「GLOBAL BUSINESS SUPPORT」による海外起業家支援【福岡市】

外国人起業家・金融機関向けのワンストップ支援センター

「GLOBAL BUSINESS SUPPORT」で以下のサポートを提供

- 起業に必要な手続きのサポート
(起業ビザの申請、住居探し、銀行口座開設、事務所確保など)
- 補助金・支援制度の紹介
- 金融ライセンスの取得支援
- 専門家や関係機関、地元の人材等の紹介等



K P I	相談対応件数(令和7～11年度)	(令和9年度末)
	累計10,000件	累計6,000件

海外起業家に向けた独自の支援策「スタートアップパッケージ」【福岡市】

◆スタートアップビザ

従来の在留資格の要件を整えていなくても、最長1年間の在留資格が認められ、創業活動が可能になる制度

従来の在留資格 申請時の要件
事務所の開設 + 常勤職員を2名以上雇用 or 資本金の額又は出資の総額500万円以上 など

スタートアップビザ
左記の要件を1年以内に満たす見込みなどを 事業計画等で福岡市が確認 ※要件は1年間の在留期間更新までに準備

K P I	ビザ認定数 累計	(令和9年度末)
	240件	累計200社

◆エンジニアビザ（詳細は13ページ参照）

スタートアップ等が雇用する外国人エンジニアの在留資格の審査期間を大幅短縮

◆スタートアップ賃料補助

外国人が福岡市内で創業するときの住居及び事業所の賃料の一部を補助

◆スタートアップ法人減税

新たな価値又は経済社会の変化をもたらす革新的な事業に挑戦するスタートアップの法人税・法人市民税を軽減

◆立地交付金制度

一定の要件を満たす創業5年以内のスタートアップ企業へ、オフィスの賃料や雇用数に応じて助成

海外スタートアップと福岡企業・VCのマッチング【福岡市、FDC、JETRO】

日本進出を検討する海外スタートアップを、潜在的な顧客やパートナーとなり得る国内の事業会社・VCとのマッチング



K P I	マッチング件数(令和7～11年度)	(令和9年度末)
	累計	累計300件
	600件	

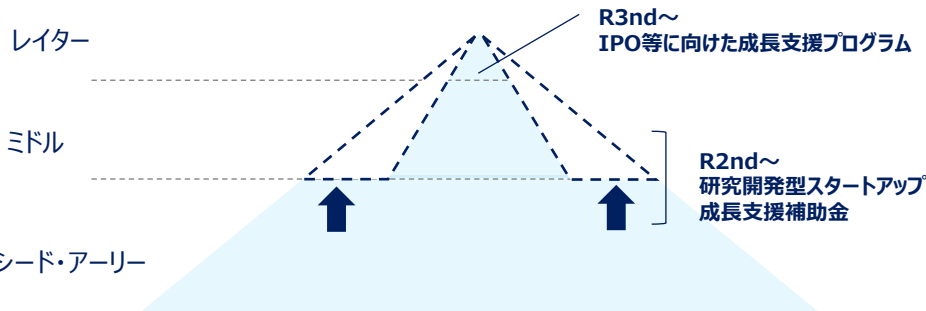
Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(1) 実績と目標

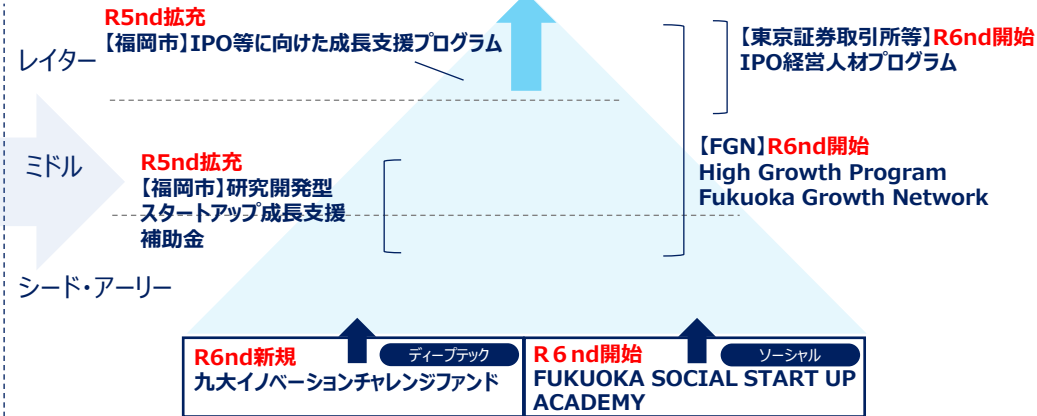
「高さ」につながるカスタマイズ支援の充実へ



～ 創業環境は充実 … 一方「高さ」が足りない ～



～ カスタマイズ支援で「高さ」を実現～



創業支援

- ・スタートアップカフェにおける創業相談窓口
- ・特定創業等支援事業
- ・福岡市新規創業促進補助金
- ・スタートアップビザ
- ・外国人創業環境形成事業

2014～
起業数 1,156社

開業率 6年連続 1位

多種多様なスタートアップ



スタートアップの成長支援

- ・スタートアップと企業や投資家のマッチングイベント
- ・コミュニティの形成

2017～

累計資金調達額 490億円

評価額10億企業 累計120社

FGNが民間の
活動の呼び水に

民間のインキュベーション・ラボ施設が
新たに続々オープン



いとLab+ (2023)

- 九大伊都キャンパス近く
- 産学連携により新産業・新事業の創出を目指す拠点



GROWTH I (2023)

- FGNの隣地
- 事業拡大期の「スタートアップの成長加速」と「地域企業のイノベーション創出」を支援する拠点

◆ FGN 3 期目リニューアル【FGN】

- High Growth Program R6nd 開始
福岡を代表するスタートアップへの成長が期待される企業を年10社程度選抜し、オーダーメイド支援を集中的に実施
- Fukuoka Growth Network R6nd 開始
FGNファシリティ・ビジネスマッチングリストの提供、専門家メンターの設置等、ハンズアップ支援を実施

FGNが支援したスタートアップの
資金調達額 (令和7～11年度)

累計 500億円 (令和9年度末)
累計 300億円

※令和6年度 82億円

◆ IPO等に向けた成長支援プログラム【福岡市】

新規上場等を目指すスタートアップ企業の経営に関する現状分析・課題抽出を行い、成長に向けた経営課題の解決を支援

財務強化 販路拡大
内部統制 IPO業務支援

支援企業数 (令和7～11年度)

累計 30社 (令和9年度末)
累計 18社

◆ ライフサイエンススタートアップ成長支援【福岡市】

ライフサイエンス分野のスタートアップ企業の創出や成長を支援するため、メンタリングなどの伴走支援や海外の投資家とのマッチングなどを実施し、海外展開を支援

新しい地方経済・生活環境交付金充当事業

支援件数 (令和7～11年度)

累計 25社 (令和9年度末)
累計 15社

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(2) 今後の取組み

「高さ」「ソーシャル」のロールモデル創出につながる産学官の取組み

海外からの成長資金の呼び込み

産学官の推進組織「TEAM FUKUOKA」による

国際金融機能誘致【福岡市、福岡県、九州経済連合会等】

(海外の資産運用業の集積等)

金融・資産運用特区による規制緩和や独自施策により、
福岡が**金融ハブ**となり**九州のスタートアップ**や成長産業の更なる発展に貢献

設立から**4年**で国内外**33社**誘致

(外資系**18社**中、**12社**が**アジア企業**)

K
P
I 海外VC・アクセラレーター・支援機関
等の福岡への拠点設置数【再掲】
累計15件 (令和9年度末) 10件



香港

地元企業の出資を受け、ESGスタートアップに投資する

50億円ファンド設立

(九州内のスタートアップ6社に出資済)

大学発スタートアップの持続的な創出・成長支援

◆九大イノベーション・チャレンジファンド

R6nd 開始

【目標額】**25億円** (福岡市、福岡県、九州大学がそれぞれ**5億円**出資)

【実施主体】出資者による九大イノベーション・チャレンジファンド有限事業責任組合 (LLP) を組成

【概要】① ファンド資金により、起業を目指す研究者に対し、創業支援プログラムを実施

② 創業時に、LLPはスタートアップから新株予約権を取得

③ **株式の売却益により、新たな研究シーズの支援を継続**

◆大学発医療系スタートアップ支援プログラム (AMED事業)

R6nd 開始

【事業費】上限 **30億円** (5年間)

【実施主体】九州大学生命科学革新実現化拠点等【協力機関】福岡市・福岡県等

【概要】**大学発医療系スタートアップ**創出のための専門的見地からの伴走支援や
非臨床研究等に必要な費用の支援、人材の発掘・育成を実施するプログラム

K
P
I

大学発医療系スタートアップ創出数
累計10社

◆PARKS スタートアップ創出プログラム

【事業費】約 **62億円** (7年間・間接経費込み)

【実施主体】PARKS (九州・沖縄の18大学を含む、全20機関で構成)

【概要】起業に意欲的に取り組む教員等や大学院生の研究成果、アイデアに基づく大学発
スタートアップの創出を目的に、GAP ファンドやインキュベーションプログラム等を提供

K
P
I

PARKS参画大学関連のスタートアップ創出数
累計155社

民間主体によるオープンイノベーションの推進

「シンケツゴー！フクオカ」 R6nd 開始

九州電力株式会社、西日本鉄道株式会社、
TOPPAN株式会社が**福岡・九州のオープンイノベーション推進を目的**とした
コンソーシアムを設立 (R6.6.3)

R7.1.22 成果報告会

応募約**300件**中、**13社**と協業・POCを検討中



九州電力 × Nishitetsu Group × TOPPAN
一緒に、夢を描こう。

Jスタ九州との連携

◆Jスタ九州選定企業×VC・CVCマッチング支援【福岡市、九州経済産業局】

R7nd 新規

福岡市と九州経済産業局が連携し、資金調達やオープンイノベーションにつながる
マッチングを実施

ソーシャルスタートアップの持続的な創出・成長支援

◆ソーシャルスタートアップ成長支援事業【福岡市】

R6nd 開始

ふるさと納税を活用し、社会課題解決を目指す
スタートアップの経営基盤強化の取組みを支援

K
P
I

支援件数 (令和7～11年度)
累計 50社
(令和9年度末)
累計 30社



◆FUKUOKA SOCIAL START UP ACADEMY

R6nd 開始

【FGN × (株) ボードレスジャパン 連携プロジェクト】

3ヶ月間で社会課題解決につながるビジネス
アイデアのベースを作る社会起業プログラムを
実施



Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

公民連携ワンストップ窓口「mirai@」を通じた公共調達促進

公民連携ワンストップ窓口「mirai@」

- 先端技術等を活用した実証実験や共働事業などスタートアップ等からの提案実現を支援し、社会課題解決や行政サービスの高質化・効率化を図る公民連携のハブ
- 令和5年度からは、よりスタートアップ等の成長を後押しするため、公共調達を促進させる取組み「トライアル公共調達サポート」「先端技術公共調達サポート」を開始
- 平成30年度のmirai@開設以降、約200件の実証実験等を実施
- 今後は、スタートアップの商品情報や行政課題等を体系的に他自治体と共有し合うなど、公共調達支援のさらなる強化に取り組む



K
P
I

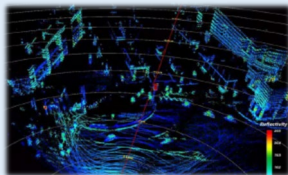
mirai@支援プロジェクト数
(平成30～令和11年度)
累計300件 (令和9年度末) 260件

トライアル公共調達サポート【福岡市】 R5nd 開始

- 随意契約にて締結が可能となる「福岡市トライアル優良商品認定事業」に認定された商品を持つスタートアップ等と、**行政課題を抱えた部署とのマッチング**や、**行政ニーズに合わせた商品仕様のすり合わせ**など、mirai@が公共調達に向けて伴走支援

センサー画像のAI 解析による交通量調査

プライバシーに配慮して特定の個人を識別せずにセンサーで人流・交通量などの交通状況をAIで分析、可視化



トライアル優良商品認定
(令和5年8月)

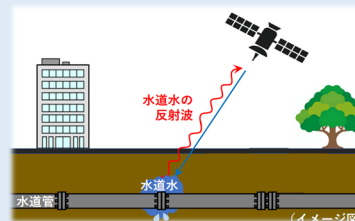
公共調達
(令和5年11月)

先端技術公共調達サポート【福岡市】 R5nd 開始

- 企業のチャレンジが行政とのビジネスに直結するスキームで、**実証実験でいい結果が得られれば、直接契約（公共調達）**につなげる前提で公募を実施
- 実証実験後の事業者選定（評価）の際は、**スタートアップには加点措置**を設けるなど、意欲のあるスタートアップの応募を後押し

人工衛星画像を活用した 水道管漏水調査

人工衛星画像や土壌データ、水道管属性情報等をAIで解析し、水道管の漏水リスクを検知



実証実験
(令和5年5～9月)

公共調達
(令和6年5月)

IoTセンサ等を活用した 水道管漏水調査

漏水リスクエリア等にAI判定機能を備えたセンサを設置し、漏水有無を日々継続的にモニタリング



実証実験
(令和6年1～6月)

公共調達
(令和6年10月)

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

1. アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

(1) 目標

将来の選択肢のひとつとして、「起業」が当たり前になる社会

エコシステムの土台となる人材の創出（FGNやスタートアップカフェへ）

外部人材もプログラムでメンタリング等のサポート

- スタートアップ（起業家）
- VC、金融機関
- 起業支援者
- 大学、民間企業
- 学生起業家

ステージ 2

発達段階に応じたプログラムを提供

◆若年層の起業家マインド向上事業【福岡市】

R6nd 開始

自分の夢を叶えるための手段のひとつとして、起業を身近に感じ、チャレンジする子どもたちを増やすとともに、起業家マインドを醸成することで、次世代の起業家を育成することを目的として実施

<小学生コース>

身の回りの困りごとからビジネスアイデアを考案し、市場調査や起業家からのメンタリングを通じて、アイデアを磨き上げ、ピッチを実施



<中高生コース>

身の回りや地域・社会の課題から、スタートアップ型のビジネスアイデアを考案し、市場調査や起業家からのメンタリングを通じて、アイデアを磨き上げ、ピッチを実施



ステージ 3

大学生へのアントレプレナーシップ教育【福岡市、PARKS、大学、経済団体】

PARKS（九州・沖縄の大学プラットフォーム）

参加大学におけるアントレプレナーシップ教育を実施できる教員の育成や、社会実装に向けた学生へのアントレプレナーシップ教育を実施



福岡未来創造プラットフォーム

起業家育成プログラムや福岡都市圏の加盟大学による横断型の「アントレプレナーシップ教育 共通プラットフォーム」を構築



ステージ 1

小中高生を取り巻く環境（保護者・教員等）の意識醸成【福岡市】 ※教育委員会との連携により実施

R7nd 新規

起業への理解と関心を深めることで、福岡市全体で起業しやすい土壌づくりを実施（プログラムの見学、イベントレポート、教材展開、学校向け説明会 等）

起業への関心 UP

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

1. アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

(2) アントレプレナーシップ教育等に関する実績と今後の取組み

小学生から大学生まで切れ目のない人材育成

育成対象	小学生	中学生	高校生	大学生		
取組名	若年層の起業家マインド向上事業			ビジネスチャレンジNEXT	Fukuoka School of Entrepreneurship	PARKS
主な実施主体	主催：福岡市 連携：Fukuoka Growth Next、起業支援者、スタートアップ、VC、金融機関、民間企業、大学、学生起業家 等			主催：福岡未来創造プラットフォーム 構成：福岡都市圏の12大学、福岡商工会議所、福岡中小企業経営者協会、福岡市	構成：九州大学、福岡大学、筑紫女学園大学、日本経済大学、西南学院大学、福岡市	構成：九州・沖縄18大学、（株）FFGベンチャービジネスパートナーズ、九大OIP（株）
取組概要	● 小中高生向け起業家育成プログラム ● 身の回りや地域・社会の課題からビジネスアイデアを考案し、市場調査や起業家からのメンタリング、プロトタイプ制作や最終日のピッチへの挑戦を通じ、起業のプロセスを体験			● 学生自らが作成したビジネスプランのブラッシュアップから実行までをプロが支援する起業家育成プログラム	● 福岡都市圏の大学が各々のアントレプレナーシップ教育に関する講義を持ち寄り、参加大学の学生などが自由に受講 ● アントレプレナーシップマインドを持つ人材育成に取り組む	● 全20機関で構成するスタートアップ・エコシステムの創出を目指したプラットフォーム ● 起業活動支援プログラムの運営、アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等を実施
実績	「福岡スタートアップ・サポーターズ協議会」においても、令和元年から起業家育成プログラムを実施し、上記取組と合わせた令和2年からの累計参加者数は、計260人。 			令和2年から計4回実施し、34チーム、累計111名がエントリー。そのうち、2社（4名）が起業。 	令和4年度からアントレプレナーシップ科目を21科目提供し、述べ756名が受講（2023年度末時点） 	PARKS参画の大学生向けに3段階のフェーズでアントレプレナーシップ教育を実施。 令和5年度の実受講者数は目標を大きく上回る15,000人超。 
KPI	プログラムへの参加者数 令和9年度末時点：270人 令和11年度末時点：450人			プログラムへの参加者数 令和9年度末時点：30人 令和11年度末時点：50人	プログラムへの参加者数 令和9年度末時点：1,000人 令和11年度末時点：2,000人	アントレ教育の実受講者数 令和8年度末時点：年間12,000人

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

2. エコシステムを支える人材・組織の確保

(1) 拠点都市自治体における方針等



高島市長

- 「高さ」「ソーシャル」という二つの柱でスタートアップ支援を推進
- 「ソーシャル」の面では大きな成果があったが、**最大の課題は「高さ」**であり、今後重要になってくるのは**グローバル展開**
- 福岡は地理的にもアジアに近く、歴史的にもアジアとの交流が深い都市であるという強みを活かし、**アジアのスタートアップハブ**としての地位を確立することを目指す

市総合計画におけるスタートアップ施策の位置づけ

目指す姿として、「スタートアップが互いに交流するとともに、地場中小企業や学生など多様な主体と連携しながら成長し、新たな価値を生み出すなど、チャレンジする人材が活躍しやすいまちになっています。」を掲げ、重点分野に位置づけ

予算額

【単位：億円】

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
81.3	44.3	43.1	45.9	52.7	62.9

【KPI】 令和7年度予算額をベースとして、柔軟に予算を整備

担当部署の人員体制等の推移

担当部署の人員体制等の推移	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
経済観光文化局 創業推進部	27	27	30	29	35	36
経済観光文化局 新産業振興部	22	22	24	28	32	33
経済観光文化局 投資交流推進部	20	23	25	28	27	28
総務企画局 企画調整部	17	18	19	17	13	13
計	86	90	98	102	107	110

【KPI】 令和7年度人員体制をベースとして、柔軟に組織体制を整備

(2) エコシステムを支える組織の確保に関する実績と目標、今後の取組み

取組みの実行性・持続性を高め、より熱量の高い産学官民の組織へ

スタートアップ支援を実行する組織として、予算を確保できる組織へと枠組みの変更を予定

【第1期（令和2～6年度）】福岡スタートアップ・コンソーシアム（現行）



設立当初から支援の輪が広がり、会員数が増加
(60 → 81団体)



スタートアップの資金調達上の課題である融資を
テーマとしたWGをR4nd～開始
※地場金融機関・VC等 10数社参加



オープンイノベーションを促進するイベントを実施

【第2期（令和7～11年度）】福岡RAMEN TECH コンソーシアム

活動テーマを設定し、主要なステークホルダーによる施策を検討・実行

グローバル

- RAMEN TECH企画検討・実施
- 海外展開支援策の検討



オープンイノベーション

- イベント企画検討・実施
- 民間の取組みとの連携検討



資金調達

- スタートアップ向けの融資に関する取組み等の検討・実施



他拠点との連携

◆スタートアップ推進都市協議会 会長：福岡市長

令和6年度加入 令和7年度加入予定

12自治体（福岡市、浜松市、つくば市、青森市、千葉市、別府市、熊本市、富谷市、北九州市、高岡市、**鹿児島市、品川区**）

- スタートアップ支援に先進的に取り組む自治体が繋がり、支援ノウハウを共有
- 「JAPAN STARTUP SELECTION」の開催
⇒加盟自治体発スタートアップ企業と、全国の大手企業や投資家等とのビジネスマッチングを実施

◆STARTUP KYUSYU



令和5年度 開始

九州各地からスタートアップ、起業志望者、投資家や自治体といった支援者等が集まり、新しい繋がりをつくる交流イベントを開催



Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

(2) エコシステムを支える人材の確保に向けた目標と今後の取り組み

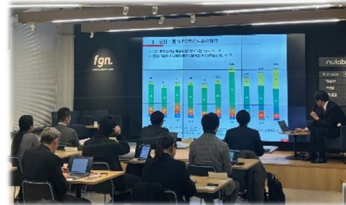
～ 国内外から多様な人材が集い、育ち、スタートアップの成長を強力に後押し ～

経営人材育成

R6nd 開始

IPO経営人材プログラム【東証・福証・福岡市・地場金融機関】

IPOを目指す企業の経営者層の人材に対し、IPOに関する知識や情報を提供するとともに、IPO支援者や参加企業同士のネットワークを構築



(高さ)

(再掲) IPO等に向けた成長支援プログラム【福岡市】

R5nd 拡充

新規上場等を目指すスタートアップ企業の経営に関する現状分析・課題抽出を行い、成長に向けた経営課題の解決を支援（経営者層向け）

財務強化

販路拡大

内部統制

IPO業務支援

K
P
I

支援企業数（令和7～11年度）

累計

30

（令和9年度末）累計 18



人材確保

国家公務員の退職手当の特例（国家戦略特区 活用事業）【福岡市】

スタートアップが行う事業の実施に必要な人材確保を支援

※福岡市職員がスタートアップに転職

- 登録スタートアップ 35社
- 転職事例 8件

福岡県CXOバンク【福岡県】

スタートアップの成長促進に必要な人材を企業とマッチング

- 登録者数 626名
- マッチング件数 累計37件



エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進【福岡市】

～エンジニアが集まる、活躍する、成長する街～

エンジニアカフェの運営、エンジニアの育成・発掘につながるイベント等を実施

- エンジニアカフェ 累計利用者数 90,000人超
- 「高度外国人ITエンジニア採用支援」を開始

R7nd 新規



エンジニアビザ（国家戦略特区 活用事業）【福岡市】

R6nd 開始

スタートアップ等が雇用する外国人エンジニアの在留資格の審査期間を大幅短縮

- 認定企業 14社
- 制度を利用した外国人エンジニア 33人



K
P
I

エンジニアビザ活用企業数（令和11年度末）

累計

40

以上

（令和9年度末）
累計30

福岡市が企業の経営の安定性等を確認

審査期間が約1か月へ短縮

(すそ野)